**第２回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２８年５月１３日（金）　１７：３０～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　　安宅　錦也

　　　　　　　 部会員　　仲川　弘誓

　　　　　　　　　　　　 合田　美津子

　　　　　　　　　　　　 磯田　大治

　　　　　　　　　　　　 佐藤　文子

　　　　　　　　　　　　 橋場　太 （協働推進庁内委員会部会長）【教育部次長】

　　　　　　　　　　　　 安部　直也（協働推進庁内委員会副部会長）

【教育部社会教育Ｇ総括主幹】

◆ 欠席部会員：副部会長　川村　正勝

◆ 事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　　 野畑　衣里子【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

４月２５日に全体会議をし、市民自治推進委員会の方向性が決まりました。

各部会がバラバラな動きをするのではなく、一つの柱を見つけて進めていくという考え方が示され、各部会で共通して議論できるものとして『健康』を柱にするということで委員の皆さんの同意を得ました。

健康といいましても、体の健康だけではなく、心の健康、精神的な意味での健康も含まれており、市民の身体的及び心が健康でなければまちづくりを進めていけないというような考え方に基づいているものであります。現在の少子化や高齢化、経済の問題もこの健康が基本になるのではないかという考えです。

今日の部会については、健康について皆さんに自由に語っていただき、その中で育み部会として取り組んでいけるような方向性を見出していければと思っております。

また、お手元に配付した資料ですが、登別市総合計画第３期基本計画の第５章にある事業を抜粋し一覧にしていますので、健康に関連付けて何かできる部分や気になることがありましたら、お渡ししてあるＦＡＸ用紙に記入し送信してください。

今後部会をあと２・３回開催し、そのあとに部会長副部会長会議を開催し、それぞれの部会で健康をテーマにどの程度進んでいるのかを情報共有しまた進めていければ良いなと思っております。

市の事業に反映できる部分があれば、秋くらいには形になってないといけないとは思っております。

**≪部会長≫**

前回の全体会議の中で、「健康」ということで決められました。

今日は育み部会としてどのような取り組みができるのかスポーツや世代間交流など必要な部分をお互い話し合って進めていければと思います。

**≪事務局≫**

市の事業もありますし、各団体さんの事業というのもありますし、色々な部分での話になってくると思います。

**≪部会長≫**

育み部会の場合は、第５章ということで、個性と人間性を育むというのがテーマになっていますので、特に１節の部分では、生涯に渡って学び続ける生涯学習社会の創造という部分。それから地域・家庭・学校と連携した人間性の育成という部分では心の健康というふうにも繋がっていけるのではないかと思います。

ということで、前回の話を受けて、この部会としては「知」「徳」「体」この３つをバランスよく、体づくりや頭づくり心づくりというようなテーマでそれぞれの分野の中で何ができるのかというのを考えていくと関連性が図っていけるかなというふうに思います。

そういう面でそれぞれの分野の中でできることがあったら出してください。

**≪部会員≫**

具体的な話になりますが、今日、実はスポーツ庁の関係者からメールが来ていて、スポーツ庁でも「健康」というのを平成２８年度は全面的に出して本腰入れてやりますよという内容でした。

皆さんスポーツ庁が何のためにできたのか何となくわかりますか。

**≪部会長≫**

オリンピック選手とか人財育成ですよね。

**≪部会員≫**

皆さんそう思いますよね。

私は何度も東京に足を運んでいて、昨年度まであった文部科学省の主体事業を所管していたのが「スポーツ青少年局」という所でした。

そこのメンバーがほぼ全員スポーツ庁に移って今事業を行っていますが、簡単に言うと「スポーツ」というのが真ん中にあって、そこに１１０人くらいの各省庁の人が入ってきています。例えばスポーツで産業を興そうというと経産省が入ってきたり、スポーツで健康を何とかしようというと厚生労働省が動いて、もちろんオリパラがあって、というのをスポーツ庁がハブになって行っています。

登別も実は長く関わっていて、少し前までノルディックウォーキングがかなり生涯スポーツの中で推進されてノルディックウォーカーが増えています。

健康増進で何かをしようとすると健康推進Ｇで何かできないかということになりノルディックウォーキングが良いということになり、生涯スポーツの方にいくと教育委員会があって貸出とかを行っている。健康寿命を延ばそうとすると保健福祉部のグループが何かできないかなというふうになる。

バラバラになっていて、資金についても小さなものが各事業にぶら下がっている。例えばそれを一元化して、少ない予算を集約できて、窓口の人のところもある程度集約できて、市の「健康」という一括りのところをある程度市民力を結集して「人・物・金」が一元化するような仕組みになってくれればもう少し頑張れるのかなと思います。

今年度から健康推進グループの方で「はつらつママリフレッシュ講座」というのを年４０回請け負います。保健福祉の方からは「かろやか体操」の委託を年９０数回受けます。

今回、自分の団体がこの講座を随契で受けることができたのも、他の株式会社等が断ったからです。

一つの事業にお金をたくさんつけるというのではなく、何となくばら撒かれているところを一つに集めて、何となく散らばっている人材も一つに集めてもらえれば、受ける側としてももう少しパワーを持っていけるし、勇気を持って何かに投資できるのではないかなと考えています。

もう一つ「健康」となれば、「健康」というものを題材にして経済を活性化する。民間団体や株式会社も「お金になる」となればもっと活発に動き始めると思います。

そのような括りを、行政も団体も株式会社も議会も含めて、何となく一つに必要なところに「人・物・金」を集めるようにしてもらえたらどうかなというふうに考えていました。

**≪部会長≫**

一つの方向性のような部分ですけど、いかがですか。

**≪部会員≫**

「はつらつママリフレッシュ講座」というのは新規の事業ですか。

**≪部会員≫**

そうですね。

健康推進グループの事業で、しんた２１に行っている３歳未満の母親たちが、心が病んでいったり、ストレスが溜まったりするので何とかしたいということで、アーニスのスタジオを改装し、教室スペースをファミリーサポートセンターと連携しながら託児に利用して、スタジオの方でママ達は好きな運動ができるものです。

**≪部会員≫**

そういう所に来るお母さんたちは心は病んでいなくて、色々なところに出てくる人達ですよね。

**≪部会員≫**

逆に、そういうところに出てこないお母さん達を、参加させるにはどうしたらいいの。

**≪部会員≫**

それが難しいのです。

**≪部会員≫**

以前、子育てサロンをやったときに、そういうお母さんたちを対象としたんですが、来たのは毎日出歩いているようなお母さん達で、ちょっと方向性が最初とは異なってしまいましたね。

**≪部会員≫**

全部そうですよね。

本当に来てほしい人に来てもらえるようにしないと意味がないですよね。

**≪庁内委員≫**

家庭教育学級という事業がありますが、そこに出てくる方達もみんな健康な人達ばかりですね。

**≪部会員≫**

ママも高齢者もみんなそこですよね。

そういう人達をいかに外にでて趣味をしたり体を動かしたり人と接する機会を増やせるかということですね。

**≪庁内委員≫**

私のところでも施設系の委託にはなっていますけど予算が付いていても、そういうところに出てきて体を動かすのは健康な方。予算に関係なく、今高齢者で一番多くの方が行っているのがウォーキングなのかなと思います。

そこに、予算が付く付かないは別として、何らかの手助けをして、参加できるような形にできればなと思います。

**≪部会員≫**

ウォーキングは確かに増えていますね。

所々に、ここからスタートしてどこまで行ったら、何分で行ったら何カロリーを消費しますよというものがあちこちにあれば良いですね。

以前、そういうマップみたいなものがあったと思いますが。

**≪部会員≫**

７～８年くらい前に作っていますね。

**≪部会員≫**

札幌の地下にもありますね。

生活圏の中であるということが大事ですので、あちこちにあるのが望ましいですね。

**≪部会長≫**

公園やハイキングコースに、健康づくりに向けた表示ができないかという話ですね。

**≪部会員≫**

そうなった場合、行政はどこの部署が担当になるのですか。

公園なら土木・公園グループというように場所によって部署が違いますよね。

**≪部会長≫**

まず、例えば岡志別や亀田公園、桜木の堤防などの何コースか決めて活用できそうな部分に少しでも意識喚起を図っていくというふうにすると広がりもできるし、健康づくりの一つの方法として良いのではないでしょうか。

**≪部会員≫**

新潟県では、大きなイオンモールと連携して、地下から全部を歩くと２㎞歩くことになるので、各ポイントでスタンプをもらうと割引が受けられるというような制度があります。

**≪部会員≫**

そういうものがあればいいですよね。

**≪部会員≫**

趣味を増やしてもらうなら、文化協会に協力してもらうのが早いのかなと思います。

**≪庁内委員≫**

文化系とスポーツ系も趣味でいけば入ってきますね。

**≪部会員≫**

家の中にこもっている人たちを趣味で参加させるのは難しいですね。

**≪庁内委員≫**

困っている人たちがいれば、救いの手を差し伸べることができますが、それに気づいていないのかもしれないですね。

**≪部会員≫**

下手にこちらから行ったらお節介と言われてしまうかもしないですね。

**≪部会員≫**

民生委員の情報をもらうことはできないですか。

**≪庁内委員≫**

それはできません。

**≪事務局≫**

一緒に行ってくれる人がいればいいのかもしれないですけど、一人で行くのはなかなかハードルが高いかもしれないですね。

**≪部会員≫**

女性って、すぐにグループをつくりますよね。

女性はすぐにグループで何かできますが、男性は基本的にはマシントレーニングにいってしまいますよね。

**≪部会員≫**

とりあえずはターゲットを絞るしかないですね。

**≪部会員≫**

糖尿病や高血圧の方については、国保の方についてはわかりますよね。

**≪部会員≫**

国保と何回か連携させてもらったことがありますが、国保の方はメタボになる前の健診にすら呼べないので、全体を把握するのはできないと思います。

**≪部会員≫**

病院にかかっている人たちを対象にした方が早いですね。

**≪部会員≫**

病院にかかっている方に対しては、すでに何らかの動きをしていると思います。

または、子どもをターゲットにし、小さいうちから植えつけておけば改善できるかもしれないです。それは３０年先の話かもしれないですけど。

**≪庁内委員≫**

自分たちが学校に通っているときは体育の授業がありますが、社会人になったときには、自分でやろうと思わないと何もできないですよね。

社会人になっても体を動かす環境があっても良いのかなと思います。

**≪部会員≫**

生活習慣病の人は面倒臭がりだから、自分から色々な情報を集めてまでやろうとは思わないですからね。

そういう人達を中心に情報を提供していくという試みをしていき生きがいを持ってもらうのがいいかもしれないですね。

**≪庁内委員≫**

自分のやりたいことがないとだめですよね。

**≪部会員≫**

自分で選んでもらわないとだめですからね。

**≪庁内委員≫**

子ども達にしてみれば学校の部活動にしても、今はほとんど無いので他校併せて一つのチームを作るという状況になっているので、環境が狭くなってしまっています。

**≪部会員≫**

田辺市でやっていることがあって、登別でいう「かろやか体操」のようなもので、地域でリーダーを作って小さなコミュニティの中に同じプログラムを落とし込まれ、どんどん広がっていく。ただ、登別もそうですけど、それをやってしまうとリーダーが良からぬ方向に行ってしまう可能性があります。

例えば、ある町内会で卓球台を置いて、卓球を入れ込んでやっていた方が「そんなのは卓球じゃない」と言って、卓球を遊びでやりたい人にしたら迷惑ですけど、そうならないようにトラブルがあったらＮＰＯが介入してトラブルを解決するというところに予算が付いているというやり方があって、そこに運動やレクリエーション、勉強が小さなところででき、サロンや町内会館のエリアでできればいいのかなと思います。

今のかろやか体操をリーダーを決めてやってもらっても、後のフォローがなかなかできないですよね。そこまでを視野に入れてやれば、サークルを作ったは良いけど後は高齢化していくということを防げるのではないかと思います。そこに人材を投じられるかどうかだと思います。

今、かろやか体操だけでも１９のサークルがあります。

ただ、色々と好き嫌いがあるところは高齢介護グループの方でやりとりをしているようですが、１サークル大体１０～１５人程度で一定の人数が保てるようにしているとのことで、場所は老人憩いの家などで、歩いて行ける圏内で展開していて、自分たちもこれからやっていく中で、狭いエリアでやっていこうと考えています。

きずな計画ができたので、上手くマッチングさせればいろんな展開ができるのではないかと思っています。

**≪事務局≫**

第５章の中には真ん中のところに食育についても入ってきているので、その食育の部分での健康を持っていきやすい部分ではありますね。

**≪部会員≫**

市でやっている家庭菜園の講習会には人がたくさん集まるので、家庭菜園で無農薬を広げていき、登別の家庭菜園は無農薬で当たり前というような講習をして、どこの家庭でも無農薬で家庭菜園ができるようにしていけば、給食で使うような野菜も無農薬の可能性が出てくると思います。

**≪部会員≫**

やるなら、講習会で終わりではなく、実際育ててみたけれど虫がついて上手く育たないなどの、その後のフォローまでできるようなシステムにして、相談できる窓口まで設けるようにしてあげた方が良いですね。

**≪部会長≫**

肥料はクリンクルセンターのリサイクルの物なんかすごく良いですからね。そういった物ともうまく連携できれば良いかもしれないですね。

**≪部会員≫**

公共施設と民間施設で運動に関われる場所を抽出した方が良いかもしれないですね。

割引制度を設けたり、利用時間をもっと延ばせられる可能性があるとか。

公共の場所といったらプールと岡志別と川上公園、総合体育館、陸上競技場、青少年会館、亀田公園もスポーツ施設ではないけど散歩コースになりますね。

公民館等についても、空いているのであれば有効に利用してもらいたいですよね。

**【次回会議について】**

・育み部会は「体の健康づくり」をメインにして考えることにする。

・どんな「体の健康づくり」を取り上げるか。取り上げられるか。

・市内にある体を動かすことができる施設（公園）を民間も含めて抽出する。

・公共施設については教育委員会で抽出し、民間については磯田委員が抽出する。

・市内のマップについては、教育委員会にあるので次回持ってくる。

・事業の中で「体の健康」に関連付けられるものがあればＦＡＸで事務局まで提出する。

**【次回の日程】**

平成２８年６月２２日（水）１７時３０分から

資料を持ち寄った中で、具体的に何ができるかを話し合う。